

# 週刊大貫のり夫

## 市政ファイル No.311



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2011年9月28日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

日本共産党横浜市議団が市長に緊急申し入れ

### 放射能汚染 国・東電に対応迫れ！

日本共産党横浜市議団は22日、市の放射能汚染対策について、林文字市長あてに緊急に申し入れを行いました。

横浜市では、学校給食にセシウム汚染された牛肉が使われたり、港北区で道路側溝の堆積物から周

辺より高い値の放射線量が測定されるなど、放射能をめぐる問題が相次いでいます。

申し入れでは、本来なら市民の不安を取り除くべき市が逆に不安を増幅させていると指摘。特に緊急を要する放射能対策として、学



校や保育園、公園などの放射線量測定と土壌の撤去作業を直ちに市として行うこと、下水汚泥焼却灰の処理は国の責任で行うよう国に強く求めることなど5項目(下記)を求めました。

放射能対策について大場副市長(右から3人目)に申し入れる日本共産党横浜市議団と私・大貫(右から2人目)

＝22日、横浜市役所

(2面に続く)

ブログ [www.ohnuki-norio.jp/](http://www.ohnuki-norio.jp/) 検索

# 放射能汚染の原因は国と東電

(1面より)大貫憲夫団長は「放射能について市民から多くの不安がよせられている。東京電力と国に責任があることを明らかにして、対応を迫る姿勢が必要ではないか」

と強調しました。

対応した大場茂美副市長は、「いただいたご意見は検討していきたい」と応えました。

## 市の放射能汚染対策についての緊急申し入れ (要望項目および概要)

### 1. 土壌のホットスポット対策について

- (1) 市民の通報を待つことなく、子どもたちがよく利用する施設(学校・保育園・幼稚園・公園・砂場など)の放射線量測定と撤去作業を、直ちに市として行うこと。
- (2) ホットスポットについての情報を市民に周知すること。
- (3) 放射線量測定機器を十分に揃え、市民に貸し出すこと。

### 2. 下水汚泥焼却灰の処理について

市中の最終処分施設で埋め立て処理をするのではなく、国が責任を持って、放射性物質を含んだ焼却灰の処理をするよう、国に強く求めること。

### 3. 学校給食の放射線量測定

土壌汚染が明らかになった以上、あらためて現行の1食材ではなく、主要な全ての食材あるいは給食1食分の放射線量を測定すること。

### 4. 「広報よこはま 震災対策特別号放射線特集」について

低レベル放射線被曝についての安全性は、専門家の中でも見解が分かれている問題です。その見解が分かれている問題に市が答えを出すようなことは誤りです。「広報よこはま」の震災対策特別号放射線特集第2弾を直ちに発行して、放射能と市民がどう向き合うか、正しい知識と情報を伝えるようにすること。

### 5. 東京電力・国へ請求

本市が費やした放射能対策費用の全てを、市民の税金を使うことなく、東京電力と国に対して随時請求すること。請求額はその都度公表し、この問題についての責任の所在を広く社会に知らしめること。

シリーズ『あおば子育て事情』(94)

## 困難は分割せよ

江口 寛

「仕事がうまくいかないときは、この言葉を思い出してください。

『困難は分割せよ。』あせってはなりません。問題を細かく割って、一つ一つ地道に片づけていくのです。ルロイのこの言葉を忘れないでください。」

児童養護施設の園長ルロイ修道士は教え子を訪ね、体罰をふるったことを詫び、こんな遺言めいた言葉を伝えた。

今回も、中学国語教科書(光村図書3年)に載っている話。井上ひさしさんの自伝的小説「握手」から。ルロイ修道士は最後の交換船でカナダに帰るはずだったが、日本側の都合で中止になり、強制労働に連れていかれた。「カトリック者は日曜日の労働を戒律で禁じられ



ているので、日曜日は休ませてほしい。その埋め合わせは、ほかの日曜日にきつとする。」

と申し入れたが、監督官は「大日本帝国の七曜表は月月火水木金金だ。」と。見せしめに、左の人さし指を木づちで思い切りたたきつぶした。

しかし、戦後、ルロイ修道士は戦勝国の白人であるにもかかわらず、敗戦国の子どものために、泥だらけになって野菜を作り、鶏を育てた。

「いっとう悲しいときは……？」の問いに、「天使園で育った子が、自分の子を、またも天使園に預けるために長い坂をとぼとぼ上ってやって来ること」と言う。

是非、全文をお読みください。そして、よい教材を守ってください。

前回の「窪川誠一郎さん」は「窪島誠一郎さん」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

### おまのり通信

#### 「原子力空母はいらない」

#### 横須賀集会に4500人



ジョージ・ワシントン横須賀母港化丸3年の25日、横須賀市ヴェルニー公園で抗議集会が開かれ、4500人が参加しました。

集会は「『原子力空母はいらない』の運動を地元と首都圏で大きく広げる」とのアピールを採択しました。

# 教育の権利を保障するのが 民主主義議会の責任

## ペトラ・ロートフランクフルト市長が本会議場で演説

横浜市とドイツ・フランクフルト市の「パートナー都市提携」締結のために横浜を訪問しているペトラ・ロートフランクフルト市長が27日、横浜市議会でスピーチされました。

同市長のスピーチで特に印象的だったことは、何度も「民主主義主義」という言葉を使い、特に、教育の権利を保障するのが民主主義議会の責任とし、個人の潜在能力の可能性を引き出すことが任務だと語ったことです。スピーチは気候変動や資源問題など持続可能な社会、グリーンシティと環境都市、芸術文化とフランクフルト市の都市づくりなど多岐にわたり、とても感銘を受けるものでした。



スピーチするペトラ・ロート・フランクフルト市長=27日、横浜市議会本会議場で

その後行われた横浜市議会によるフランクフルト市長の歓迎会で、私は、前に座ったペーター・カニア同市経済開発公社社長に、脱原発の問題について質問しました。彼は、「ドイツ国民の多くは原発に否定的だ」と話していました。



ミジンコの独り言 先週の台風15号はものすごかった。横浜でも停電や土砂崩れ、青葉区でも倒木や床下浸水などの被害をもたらした。台風のエネルギーを蓄え、必要な時小出しにできたら、水不足はなくなり、風力発電も自由自在に！なんてこともそのうち可能になるかもしれない。台風一過の青空がまぶしかった。(M)